

エフ・ウェイブ

# f・wave

fは、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

f・waveは、社会環境の変化の波を誌面を通じて伝え、男女が生き生きと暮らせる未来を目指すコミュニケーション誌です。

2012.3.15  
29号



Q 市の産業祭やサマーランドの催しに出演されていますね？

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

Q 太鼓というと力強い、どちらかというと男性がたくものというイメージがあります。

A 【小学6年生女子の母親】最初の子どものだけ入会していましたが、送り迎えをしているうちに、太鼓をたくく勇姿や音に惹かれ、自分も入会しました。太鼓をたく

Q 市は、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

■八王子陣馬太鼓の指導を受け、風神太鼓を秋川流域の郷土芸能として伝えたいと発足した秋川風神太鼓。現在、4歳から社会人までの男女が一丸となって活動しています。会長の伊賀さん、指導者の荒井さんと生徒さんにお話を伺いました。

## インタビュー

Q 市は、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

Q 市は、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

Q 市は、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

Q 市は、family-家族、freedom-自由、future-未来、そしてf(フォルテ)-強く、を意味し、waveは波を表します。

A 【小学5年生男子】たいたいっている人を観て、カッコいいと思いました。家に帰って、お父さんとお母さんに太鼓を習いたいと言ったら、好きならやりなさいと言ってくれました。

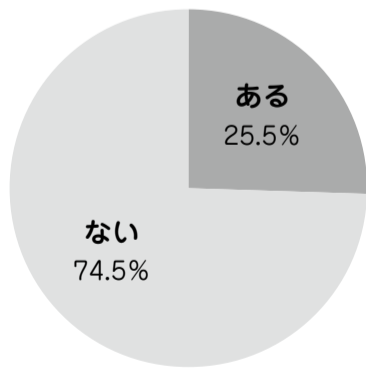
### 女も男もストレスは禁物？ 髪の毛が抜ける！を 予防する簡単レシピ

油っぽい食事や甘いものの食べすぎ、ストレスや紫外線が原因といわれる抜け毛。予防には、良質のたんぱく質(卵など)やビタミン類(ほうれん草など)を摂ることや、頭皮の血行促進が良いとされています。また、亜鉛(かき、ゴマ、パルメザンチーズ)やヨウ素(海藻、魚、貝類)は育毛を促進します。

#### 「ほうれん草とわかめのいり卵和え」 (4人分)

- (作り方)
- ほうれん草150gはゆでて3cmに切り、もどしたわかめ60gも一口大に切る。
  - 割った卵1個に砂糖小さじ1、塩少々を混ぜ、フライパンに流し入れて箸でかき混ぜる(いり卵)。
  - ①と②を混ぜ、しょうゆ・酢各小さじ2、砂糖小さじ2/3、適量の削りかつおを加えて和える。

女性の上司や先輩に不快な思いをさせられた、と感じたことがありますか？



メディアインタラクティブ調べ(2011年1月)  
対象：22~39歳男性、約2700人



男女共同参画が提唱され始めて、早いもので二十余年の歳月が流れました。その間に女性の社会進出も大変進み、男女共同参画の在り方もひとつの転換期を迎えているように見受けられます。

例えば左のグラフは、女性の上司や先輩などからのセクハラ・パワハラに関する調査結果です。回答者の25.5%、つまり4人に1人が女性上司などに不快な思いをさせられたことがあり、と回答しています。女性の社会進出に伴って、従来の「男性上司↓女性部下へのセクハラ」という構図には収まりきれない、新たな

問題が浮かび上がってきているのです。男女共同参画の意味合いは単純に女性の解放・男女平等だけではなく、なってきたことが判ります。

男女共同参画は、生き方や社会との関わり方を性別にとらわれずに考え、実践していくことです。男女平等が当たり前として育った世代が成人し、社会に進出し始めている今、こうした若い世代が、新たな課題をどのように解決していくのか。それによって、どのような展開を見せるのか。これからは、男女共同参画の動向から目が離せそうにありません。

## 新たな課題と若い世代

### コラム

「就職氷河期Ⅱ 結婚氷河期？」

就職氷河期が続く中、正社員並み、あるいは正社員としてフルタイムで働いても生活に窮する若者が増えていることをご存じでしょうか？

この現象は、若者のワーカライフバランス(仕事と生活の調和)や人生設計、結婚観にまで深刻な影響を与えています。

不安定な雇用形態や低収入が原因で、結婚も含めた人生設計や将来への展望が抱きづらくなってしまう若者が増えているのです。

就職氷河期による様々な弊害が、結婚氷河期をもたらしているともいわれています。

# 日本の離婚率と「コミュニケーション」

日本の離婚率は近年、女性の社会進出とともに上昇し、今年年間の離婚件数が婚姻件数の1/3を占めるとも言われています。しかし、景気が低迷する中、離婚率は若干減少傾向にあり、経済的な不安から離婚を思いとどまっているケースが増えていると考えられます。

「性格があわない」は大変抽象的な表現ですが、女性の40%、男性の60%以上が挙げる、離婚動機の第1位です。コミュニケーション不足と思われるものを例に取ると、残業過多や、仕事さえしていれば自分は責任を果たしているという考え方が原因で、夫が家事育児を妻に任せきりにし、その結果、妻が育児ノイローゼになってしまったというケースがあります。

実際、調停離婚で慰謝料の支払いや財産分与が行われたのは全件数の約6割にとどまり、離婚後の経済的不安は拭いきれません。また、離婚後の喪失感や子供への精神的影響などを考えると、我慢するしかないという離婚に踏み切れないケースも多いのではないのでしょうか。

また、配偶者へのイライラや恨みを、弱い立場の子供にぶつけたくない、これ以上愚痴を言ったり、喧嘩したりする姿を子供に見せたくない、という思いから離婚するというパターンも多く聞かれます。

3・11の震災がきっかけで、家族や夫婦のことを改めて考えたという人が大勢います。夫婦間のコミュニケーションは、お互いを見つめ尊重する機会であり、家族間のコミュニケーションの核となる大切なものです。核家族が増えた今、夫婦で協力するために改めてワークライフバランスの意識を一緒に考えるなど、積極的にコミュニケーションを図ることが今後ますます必要となってくるのではないのでしょうか。

妻側

- 1位 性格があわない
  - 2位 暴力をふるう
  - 3位 異性関係
- 夫側
- 1位 性格があわない
  - 2位 異性関係
  - 3位 家族・親族との折り合いが悪い

主な離婚の理由は、次のとおりです。

熟年世代でよく耳にするのは、定年後、夫婦二人きりで自宅にいるのは居心地が悪いと、一方が外出ばかりする家庭内別居やウツになるケースです。これも、外からは分かりにくいですが、それまでのコミュニケーション

として、ある時、身の回りのいろいろな物を捨て、ついでに人間関係も整理してスッキリしたそうです。「一日も一生もすぐに過ぎてしまふ。まして、年をとってからの日々はあつという間なので、苦手な人につきあつたり不得意なことに時間を費やすより、自分の好きなこと、得意なことをして積極的にその日暮らしをしよう」とおっしゃっていました。

最後に、抽選でサイン入りの本が当たるというおまけまでついて、西田さんとの楽しい一日が終わりました。結局、夫婦の仲が良く、楽しい家庭が一番だと実感させられる一日でした。

19世紀、アメリカ。12歳の少女・シャロットは孤児院を脱走し、男装して暮らす道を選びました。全

められる52年前に、自らの意志で投票した女性でもありました。生涯男装で過ごしたシャロットが実は女性であったと明らかになるのは、なんと彼女の死後であり、その死を報じた新聞記事には次のような言葉があったそうです。

「女性は男性と同じには働けないし、投票することもできない……これからは、そんなことをいう者は、ひとりもいなくなるだろう」

男女が真の意味で対等に暮らしていくためには、一人の人間としてどのように生きていくかが重要になってきます。「男女」という

## レポート 第16回 女と男のライフフォーラム開催 「妻と夫の定年塾」



去る2月19日、ルピアホールで西田小夜子さんの講演会が開催されました。

「男性も自分の食べるものくらいは作れるようにしよう」等々、たくさんアドバイスをしてくださいました。

西田さんのお話を聞いた後は、講演を聞きに来られた方々が自らの体験や考えを披露してくれましたが、そのおもしろいこと！なかにはご夫婦で参加された方が、お互いの気持ちを伝えあうなど、大変微笑ましい雰囲気になりました。

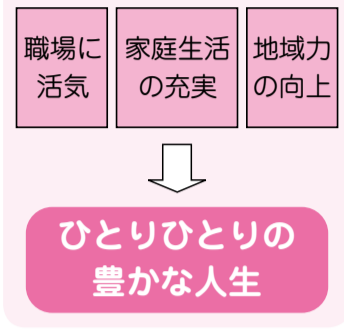
きつとこの講演会に参加された方々は、定年離婚とか夫婦でウツ病とかにはならないと確信しました。

最後に、抽選でサイン入りの本が当たるというおまけまでついて、西田さんとの楽しい一日が終わりました。

楽しい家庭が一番だと実感させられる一日でした。

## 男女共同参画社会のイメージ図 (内閣府)

男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会



また、「夫婦は横並びで話すが良い。横並びならお互いの顔を見なくてすむから」、「定年後は、名刺の肩書きをはずして普通のおじさんになった方が楽」、

## 本の紹介

『ライディング・フリーダム 嵐の中をかけぬけて』  
パム・M・ライアン著／こだまともこ訳／ポプラ社



本は、市内図書館で借りられます。

シャロット・ダーギー：パークハースト。アメリカにおいて女性の選挙権が認められる52年前に、自らの意志で投票した女性でもありました。生涯男装で過ごしたシャロットが実は女性であったと明らかになるのは、なんと彼女の死後であり、その死を報じた新聞記事には次のような言葉があったそうです。

「女性は男性と同じには働けないし、投票することもできない……これからは、そんなことをいう者は、ひとりもいなくなるだろう」

男女が真の意味で対等に暮らしていくためには、一人の人間としてどのように生きていくかが重要になってきます。「男女」という

## 本の紹介

『子どもの連れ去り問題』  
日本の司法が親子を引き裂く  
コリン P.A. ショーンズ著 (平凡社)



本は、市内図書館で借りられます。



前に「デメテルからペルセポネーをさらったハデスには言ってくれなかったが、人間にはどうかの……」  
「この本を参考にしてみようかの!!」  
マンガ・太田DOKO  
※ギリシア神話に、「死の国の王ハデスは、美りの女神デメテルの娘に恋をして連れ去るが、全能の神ゼウスの説得に応じ、娘を地上に戻す」という話がある。

f.wave エフ・ウェイブ 第29号 2012年3月15日発行  
発行／あきる野市教育委員会教育部 生涯学習推進課  
〒197-0814 あきる野市二宮350番地  
TEL 042-558-1111 FAX 042-558-1560  
企画・編集／あきる野市男女共同参画情報誌編集委員会  
編集委員／海老沢治美、グラントウ・カトゥリーナ、渋谷美喜子、羽生田紘治、山崎敦子  
イラスト／おちあいけいこ

「エフ・ウェイブ」は公募の市民編集委員により編集しています。